

令和8年5月22日
道路局環境安全・防災課

データ駆動型ロードキル対策を全国展開へ ～道路分野のネイチャーポジティブの推進～



動物のロードキル発生データに基づく対策について、昨年度の北海道（エゾシカ）や沖縄（ヤンバルクイナ等）における対策に続き、今年度より、全国の地方整備局等において、路面標示や標識、道路情報板等を活用した対策を先導的に展開します。

国が管理する道路では、ロードキルが年間約7万件（令和4年度）発生しています。

これまでのロードキル対策は、動物の安全な移動経路の確保（カルバートの設置）など「動物が車を回避する道路構造からのアプローチ」が中心でしたが、交通ルールがわからない動物たちを救うため、新たな対策として「車が動物を回避するドライバーからのアプローチ」として「データ駆動型ロードキル対策※」を進めております。

令和7年度は、北海道（エゾシカ）および沖縄（ヤンバルクイナ等）をモデル地区として、ロードキル多発区間・時間帯を特定し、路面標示や看板等による注意喚起対策を試行しました。また、全国の地方整備局等が保有するロードキル情報を集約したロードキルデータベースを構築し、道路データプラットフォーム「xROAD」で公開しました。

今年度からは、全国の地方整備局等において、このロードキルデータベースを活用し、選定した動物種（ニホンカモシカ、シカ、タヌキ等）のロードキル多発区間に対して、路面標示、標識、道路情報板、カーナビなどを活用した対策を先導的に実施していきます。

なお、これらの対策は、昨年4月の道路法改正に基づき、各地方整備局等で策定した「道路脱炭素化推進計画」に位置づけられています。

※ロードキル発生区間や時期・時間帯などのデータを活用した対策のこと。

<地方整備局等の今後の対策例>

◆大型動物対策（ニホンカモシカ、シカ）

路面標示・標識、カーナビ等の活用による注意喚起 等

◆小型動物対策（タヌキ、犬・猫）

道路情報板・SNS等での注意喚起、侵入防止フェンスの設置 等

◆その他の対策

地元高校と連携したロードキル意識啓発、動物検知システムによるリアルタイム対策 等

（参考）

・本日5月22日は国連が定めた「国際生物多様性の日」です。

【添付資料】：（別紙）道路分野のネイチャーポジティブの今後の取組

<問い合わせ先>

道路局 環境安全・防災課 課長補佐 山腰（やまこし）、係長 山田（やまだ）
TEL 代表：03-5253-8111（内線 38234）、直通：03-5253-8495



R7. 6

道路分野のネイチャーポジティブの今後の方向性の策定
～交通ルールが分からない動物たちに対してドライバーが救う～

- 「ドライバーから動物に」アプローチ
- 新たにデータ駆動型のロードキル対策



R7. 10

モデル地区でデータ駆動型ロードキル対策の先行実施（北海道・沖縄）

- ロードキル多発区間・時間帯を特定し、路面標示や看板等による注意喚起対策を試行



R8. 3

「ロードキルデータベース」を構築し「xROAD」上で公開

- 全国の地方整備局等が保有するロードキル情報を集約し、道路データプラットフォーム（xROAD）で公開



R8年度～

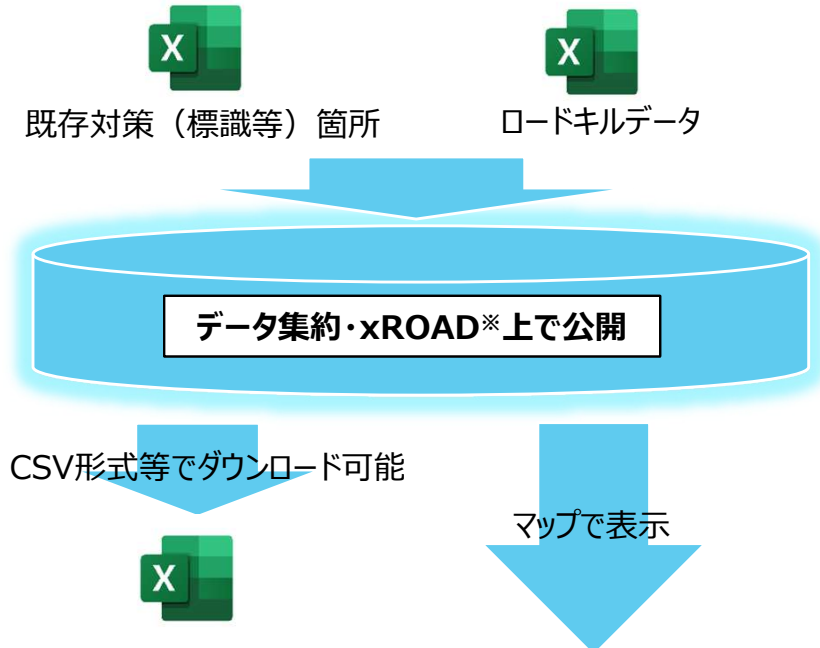
データ駆動型ロードキル対策の全国展開へ

- 全国の地方整備局等において、ロードキルデータベースを活用し、選定した動物種のロードキル多発区間に対して、路面標示、標識等を活用した対策を先導的に実施
- 対策は各地方整備局等で策定する「脱炭素化推進計画」に位置づけ

データ駆動型ロードキル対策の概要

ロードキルデータベース

- ・道路管理者や環境省の持つロードキル箇所等のデータを集約
- ・xROAD※上でデータのDL、発生箇所等のマップ閲覧が可能
- ・データを活用した効果的なロードキル対策検討・実施が可能



データにより
箇所を特定
した対策

画面イメージ



「ドライバーから動物」へのアプローチ

路面標示・標識・看板

- ・警戒が必要な区間を明示した警戒標識等



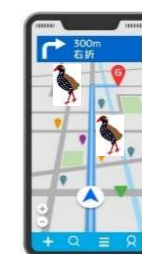
動物注意
ここから3km



その他の対策

- ・ロードキル多発区間におけるカーナビ等での注意喚起や、センサー感知式のリアルタイム注意喚起といった官民連携の取組











（♪ボーン）この先、動物の飛び出しが多い場所です。速度を落とし、周囲の動きに注意してください。



カーナビやナビアプリによる注意喚起
※トヨタ自動車提供 ※画像はイメージです

センサー感知による事故防止

各地方整備局等における今後の取組概要

	概要	
北海道開発局	【対象】エゾシカ（国道38号）、希少鳥類（オジロワシ等）（国道44号）等 【取組】侵入防止柵の設置、エゾシカマップの作成、路面標示による注意喚起 等	
東北地方整備局	【対象】シカ、イノシシ（国道6号、三陸沿岸道路） 等 【取組】防害獣アラームや侵入防止柵の設置、動物警戒標識の整備 等	
関東地方整備局	【対象】シカ（国道139号）、犬・猫（国道6号） 等 【取組】注意喚起の路面標記、標識、道路情報板、SNS投稿 等	
北陸地方整備局	【対象】タヌキ（国道49号（新潟・福島県境）） 等 【取組】警戒標識等による認知強化対策 等	
中部地方整備局	【対象】ニホンカモシカ（岐阜県北部の国道41号）、シカ（三重県の名阪国道） 等 【取組】カーナビ等を活用した注意喚起対策 等	
近畿地方整備局	【対象】シカ、イノシシ（国道161号） 等 【取組】高校の課外活動を活用した意識醸成、ナビアプリを活用した注意喚起 等	
中国地方整備局	【対象】シカ（国道54号）、タヌキ（尾道松江線） 等 【取組】警戒標識や路面標示による注意喚起、動物侵入対策型立入防止柵 等	
四国地方整備局	【対象】シカ、イノシシ（国道317号 大島道路） 等 【取組】侵入防止フェンス、野生動物警戒標識、忌避剤の活用促進 等	
九州地方整備局	【対象】タヌキ（東九州自動車道（鹿児島県大隅エリア）） 等 【取組】動物警戒標識や情報板による注意喚起 等	
沖縄総合事務局	【対象】希少動物（ヤンバルクイナ・ケナガネズミ）（国道58号） 等 【取組】ホットスポットを選定し、カーナビ等による音声周知や路面標示の整備 等	

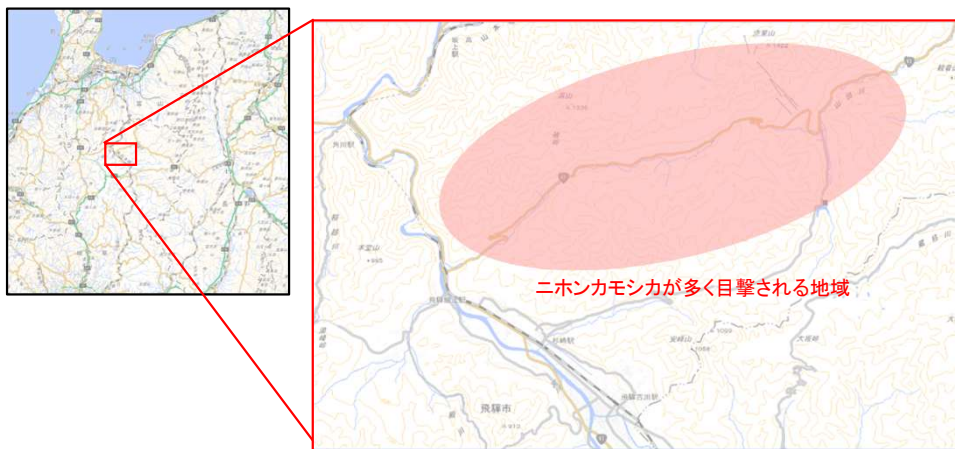
地方整備局における今後の主な取組①大型動物対策(ニホンカモシカ、シカ)



ニホンカモシカ (中部地方整備局)

- ・天然記念物のニホンカモシカの生息域である岐阜県北部の国道41号にて、ドライバーへの注意喚起対策として、カーナビでお知らせするシステムの運用等を検討

ニホンカモシカ ロードキル対策予定区間 (岐阜県・国道41号)



xROADロードキルデータを一部加工

主な対策例



動物の移動経路確保
(道路下へのボックスカルバートの設置)

この先、動物の飛び出しが多い場所です。速度を落とすなど、注意して走行してください。



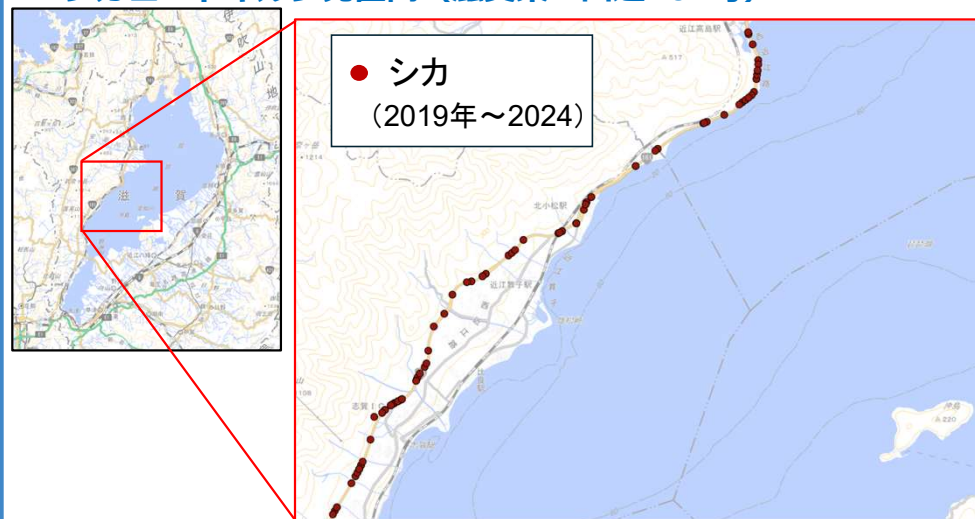
※イメージ
カーナビでの注意喚起



シカ (東北・関東・中部・近畿・中国・四国地方整備局)

- ・車・動物双方に事故の影響が大きい大型動物(シカ)のロードキルが多発する国道161号等において対策。
- ・ロードキルデータを民間企業に提供することで、ナビアプリを活用したロードキル多発区間の注意喚起等を実施。

シカロードキル多発区間 (滋賀県・国道161号)



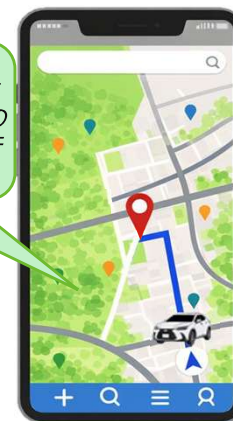
xROADロードキルデータより

主な対策例



動物注意標識

<音声イメージ>
この付近でシカと衝突する事故が多発していますので、十分に気をつけて通行してください。



ナビアプリを活用した注意喚起

地方整備局における今後の主な取組②小型動物対策(タヌキ、犬・猫)

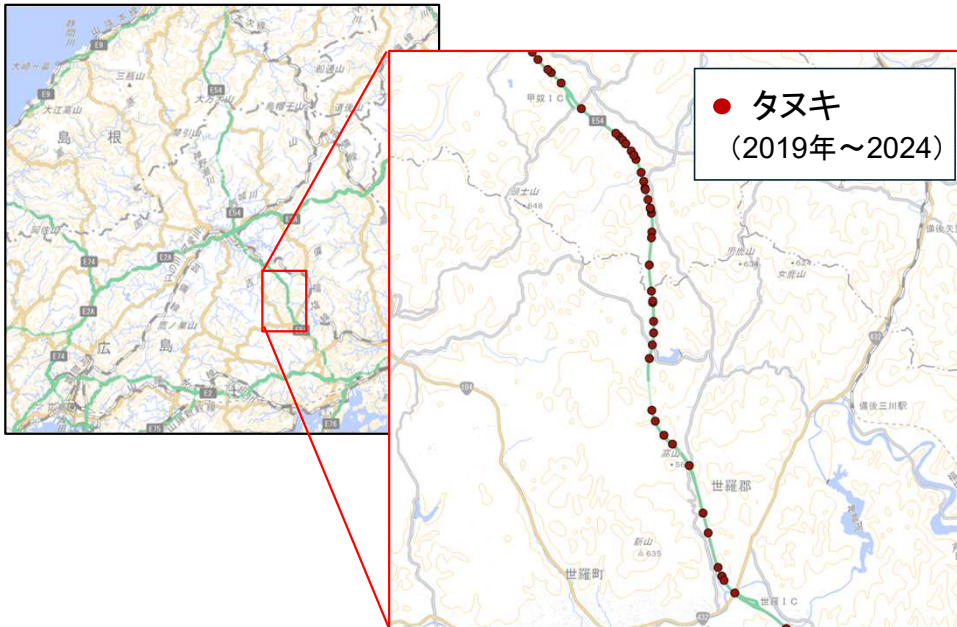


タヌキ

(北陸・中国・九州地方整備局)

- ・タヌキといった小動物の事故発生が集中している尾道松江線等において動物侵入防止フェンスなどの対策を実施。

タヌキロードキル多発区間 (広島県・尾道松江線)



xROADロードキルデータより

主な対策例



野生動物侵入防止フェンス



動物注意

ここから●km

タヌキ注意標識

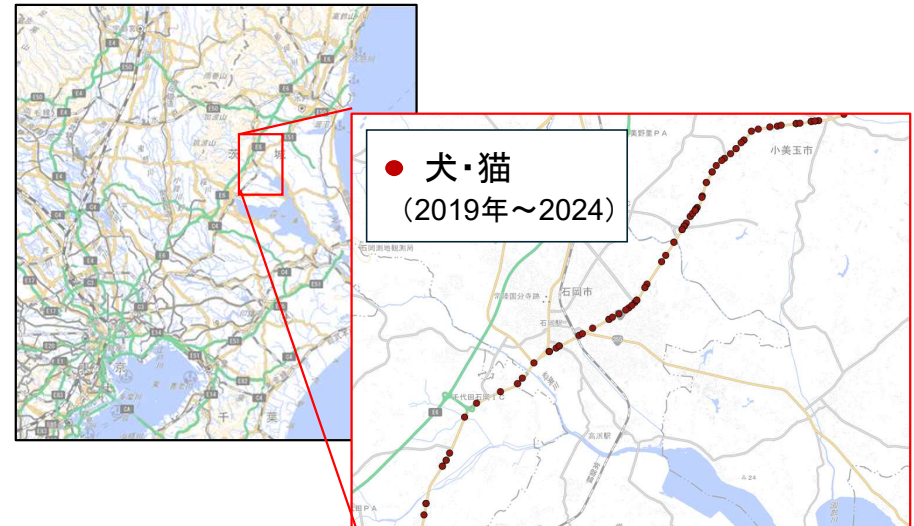


犬・猫

(関東地方整備局)

- ・広範囲で犬・猫のロードキルも多く発生していることから、国道6号等において、多くの道路利用者に注意喚起を促す広報活動(道路情報板・SNS)などを実施

犬・猫ロードキル多発区間 (茨城県・国道6号)



xROADロードキルデータより

主な対策例



道路情報板

国土交通省 ●●事務所(公式) @...
国道〇〇号の□□市付近で猫の飛び出しが多発しております。
特に夜間・早朝に注意が必要となりますので、
スピードを控えめにするなど、
安全運転にご協力願います。
#ロードキル #ネイチャーポジティブ

SNSでの注意喚起

地方整備局における今後の主な取組③その他の対策

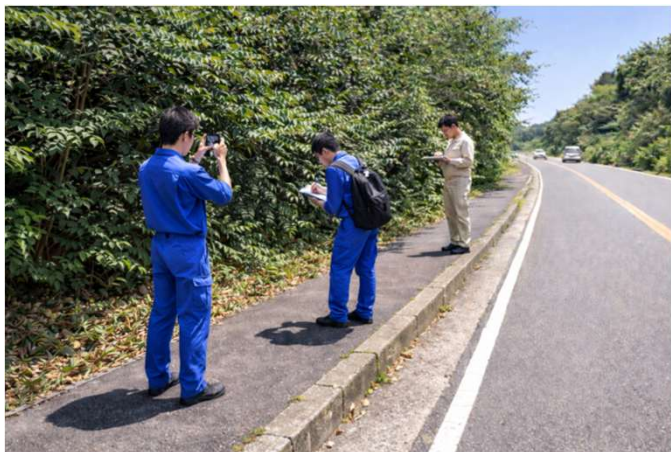
地域の学校と連携したロードキル防止意識啓発

(近畿地方整備局)

- ・地域の高校の課外活動において、ロードキル問題について共有し、意識の醸成を高める。
- ・また、生徒と道路管理者が協働してロードキル対策の課題解決に向け対策の検討・現場実証を行う。



(課外活動のイメージ)



動物検知システムによるリアルタイム対策

(東北地方整備局)

- ・動物が道路に近づくとセンサーが感知し、反対車線に設置されている光・超音波発生器により、道路上への動物侵入を防止。



三陸沿岸道路(宮城県)

動物侵入防止アラーム

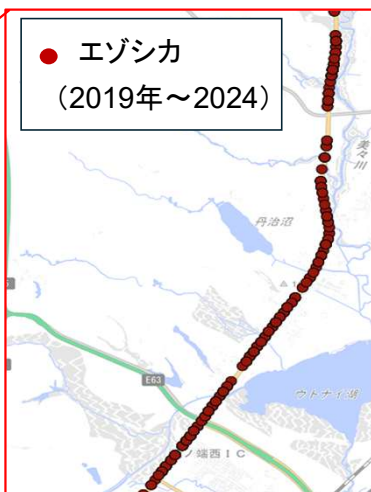
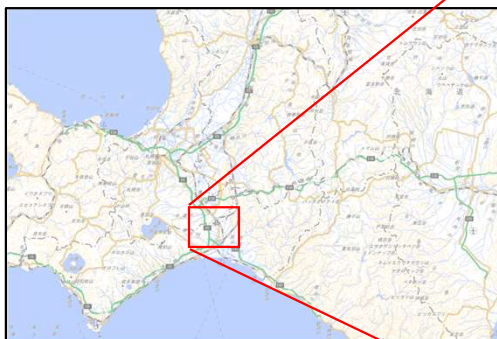
(参考)令和7年度 モデル地区における先行的な取組状況



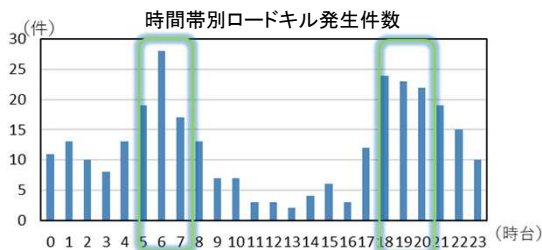
エゾシカ (北海道開発局)

- ・北海道ではエゾシカのロードキル多発区間（国道36号49.5～58kp）や多発時期、時間帯（早朝および夕方）を特定
- ・エゾシカ事故多発時期の10月前に、エゾシカの出現が多い区間における路面標示等による注意喚起対策を実施

ロードキル多発区間 (北海道・国道36号)



ロードキル多発時期・時間帯



対策



路面標示



注意看板



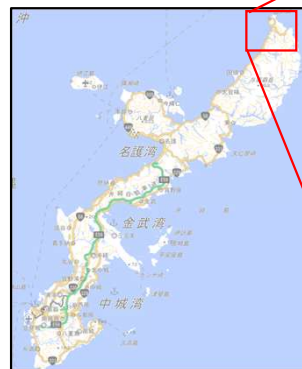
道路情報板



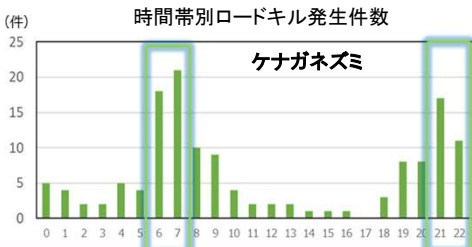
ヤンバルクイナ・ケナガネズミ (沖縄総合事務局)

- ・沖縄ではケナガネズミのロードキル多発区間（国道58号0～6kp）や多発時期、時間帯（早朝および夜間）を特定
- ・ケナガネズミ事故多発時期の10月前に、産官学の「沖縄ゆいまーるプロジェクト」により、カーナビ、路面標示による注意喚起とポスターによるロードキル防止呼びかけを実施、春からのヤンバルクイナの事故多発時期に向けて引き続き取組実施
- ・トヨタ自動車が開発するレンタカー向け運転見守りアプリを通じ、車載マルチメディア（カーナビ）画面へのポップアップ表示と音声通知にてドライバーへの注意喚起

ロードキル多発区間 (沖縄県・国道58号)



ロードキル多発時期・時間帯



対策



路面標示



ロードキル防止ポスター



カーナビ注意喚起

（よボン）この先、動物の飛び出しが多い場所です。速度を落とし、周囲の動きに注意してください。

※トヨタ自動車提供 ※画像はイメージです